

《担当者名》志水 幸koh@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

この講義では、社会福祉学の基礎となる科目で、社会福祉の制度・政策に関する歴史や哲学・原理等について概説する。

【学修目標】

この講義の目的・ねらいは、以下のとおりである。

- 社会福祉政策の構成要素（社会福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。
- 社会福祉政策の課題について理解する。
- 社会福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。
- 相談援助活動と福祉政策との関連について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	社会福祉原論Iの振り返り。 授業計画の概要・自己学習の方法を理解する。 (講義、以下同様)	志水
2	福祉政策におけるニーズと資源	社会福祉サービス供給システムを社会市場の枠組みから理解する。併せて、政府、国民の役割を理解する。	志水
3	社会福祉政策の構成要素I	供給過程と利用過程を理解する。	志水
4	社会福祉政策の構成要素II	社会福祉政策の手法、政策決定過程、評価方法を理解する。	志水
5	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度と社会福祉政策との関係を理解する。	志水
6	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉政策の主体と対象を理解する。	志水
7	社会福祉の原理と哲学	人間の尊厳と承認および自立生活支援（相談援助・介護における尊厳の保持と自立生活支援）の思想を理解する。	志水
8	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（政策論、技術論）を理解する。	志水
9	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（固有論）を理解する。	志水
10	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（運動論、経営論）を理解する。	志水
11	社会福祉政策と関連政策	住宅政策、教育政策との関連を理解する。	志水
12	社会福祉政策と関連政策	労働政策、経済政策との関連を理解する。	志水
13	相談援助活動と社会福祉政策の関係	仕組みの担い手と専門職制（職業指導を含む）を理解する。	志水
14	相談援助活動と社会福祉政策の関係	ソーシャルワークの社会的再編を理解する。	志水
15	まとめ	後期授業の要点が整理できる。併せて、この授業全体の要点が整理できる。	志水

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験により100%評価する。

【教科書】

『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 第1巻 社会福祉の原理と政策』社会福祉法人全国社会福祉協議会出版部，2025年

『国民の福祉と介護の動向2024～2025』厚生労働統計協会，2024年

『社会福祉小六法2025』ミネルヴァ書房，2025年。

【参考書】

日本社会福祉学会事典編集委員会編：社会福祉学事典．丸善出版，2014年．

その他、講義の際に適宜提示する。

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「社会福祉の原理と政策」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「人間の尊厳と自立」に該当する。さらに、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

この科目は、2年次に同時開講される社会福祉系の専門教育科目と密接な関わりを持つものである。そこで、予め当該科目で学んだ知識を整理しつつ、この科目で学んだ知識と関連づけながら体系的に理解した上で講義に積極的に参加する学修習慣が肝要である。また、報道等で取り上げられる社会福祉・社会保障関連の政策動向に注目し、その問題について深く考えてみる姿勢を身につけることが大切である。

講義で提示する課題に関して、事前学習に2時間、事後学習として2時間、教科書、参考書等を活用し、取り組むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している